

兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練に参加しました

平成28年11月22日(火)に関西電力㈱赤穂火力発電所において、20機関・220名参加による兵庫県石油コンビナート等総合防災訓練が実施され、姫路海上保安部からは巡視艇「ぬのびき」と「ひめざくら」が参加しました。

訓練は、赤穂市の内陸直下型地震の発生により、タンク火災及び重油が海上に漏洩したとの想定で、「ぬのびき」は新たに配備された衝立型オイルフェンスを展開して流出油の拡散を防止、「ひめざくら」は油処理剤を散布して流出油の処理を行いました。

陸上では、神戸市消防局の特殊災害対応部隊による大型放水砲車による石油タンク火災の消火等が行われました。

折しも訓練当日早朝に福島県沖で地震が発生し、東北地方沿岸に津波警報等が発表されたこともあり、より緊張感が増した訓練となりました。

衝立型オイルフェンス

浮体部分の断面積が小さく、水面上下部が一体の防油壁となった衝立状のもので、一般の固形式に比べると体積が小さく保管、運搬に便利。

オイルフェンス展開中の巡視艇ぬのびき



大型放水砲車

